

環境報告ガイドライン対照表

		関西電力グループレポート2016	
		ページ	記載箇所 該当項目
<b>1. 環境報告の基本的事項</b>			
(1) 報告にあたっての基本的要件			
(ア)	報告対象組織の範囲・対象期間	1	報告範囲
(イ)	対象範囲の補足率と対象期間の差異	-	-
(ウ)	報告方針	1	編集方針
(エ)	公表媒体の方針等	1	編集方針
(2) 経営責任者の緒言			
		3~4	トップコミットメント
(3) 環境報告の概要			
(ア)	環境配慮経営等の概要	39	エコ・アクション
		49	当社グループ会社の具体的な行動計画「エコ・アクション」
		50	今後の方針
		85	会社概要
(イ)	K P I の時系列一覧	39	エコ・アクション
		49	当社グループ会社の具体的な行動計画「エコ・アクション」
(ウ)	個別の環境課題に関する対応総括	49	環境管理の推進
(4) マテリアルバランス			
		38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
<b>2. 環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況</b>			
(1) 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等			
(ア)	環境配慮の方針	37	関西電力グループ環境行動方針
(イ)	重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	39	エコ・アクション
		49	当社グループ会社の具体的な行動計画「エコ・アクション」
		50	今後の方針
(2) 組織体制及びガバナンスの状況			
(ア)	環境配慮経営の組織体制等	49	グループ一体で環境管理を推進
(イ)	環境リスクマネジメント体制	49	グループ一体で環境管理を推進
		-	-
(ウ)	環境に関する規制等の遵守状況	49	法・条例などの遵守
(3) ステークホルダーの対応の状況			
(ア)	ステークホルダーへの対応	48	環境コミュニケーションの推進
		65	ステークホルダーとの関わり
(イ)	環境に関する社会貢献活動等	48	環境コミュニケーションの推進
(4) バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況			
(ア)	バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	45	バリューチェーンにおける取組み
		66	C S R 調達方針
(イ)	グリーン購入・調達	49	当社グループ会社の具体的な行動計画「エコ・アクション」
		66	C S R 調達方針
(ウ)	環境負荷低減に資する製品・サービス等	39	エコ・アクション
		42	技術開発の取組み
		43	お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO2への貢献
(エ)	環境関連の新技术・研究開発	44	スマートグリッドの構築
(オ)	環境に配慮した輸送	38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
		39	エコ・アクション (車両燃費)
(カ)	環境に配慮した資源・不動産開発/投資等	-	-
	環境に配慮した廃棄物処理/ リサイクル	46	ゼロエミッションの取組み
		46	P C B 廃棄物の処理
		50	グループ会社の取組み事例 (株) 関電L&A

		関西電力グループレポート2016	
		ページ	記載箇所 該当項目
<b>3. 事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況</b>			
(1) 資源・エネルギーの投入状況			
(ア)	総エネルギー投入量及びその低減対策	38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
		39	エコ・アクション (火力発電所の熱効率の維持・向上)
(イ)	総物質投入量及びその低減対策	38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
(ウ)	水資源投入量及びその低減対策	38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
		39	エコ・アクション (生活用水)
(2) 資源等の循環的利用の状況 (事業エリア内)			
		46	ゼロエミッションの取組み
(3) 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況			
(ア)	総製品生産量又は総商品販売量等	46	ゼロエミッションの取組み
(イ)	温室効果ガスの排出量及びその低減対策	38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
		40~42	電気の低炭素化の取組み
(ウ)	総排水量及びその低減対策	38	事業活動と環境負荷の現状 (2015年度実績)
(エ)	大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	39	エコ・アクション (SOx、NOx)
		47	発電所における環境保全対策、大気汚染防止対策
(オ)	化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	48	化学物質への対応
(カ)	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	46	ゼロエミッションの取組み
(キ)	有害物質等の漏出量及びその防止対策	46	P C B 廃棄物の処理
		48	化学物質への対応
(4) 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況			
		48	生物多様性の保全
<b>4. 環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況</b>			
(1) 環境配慮経営の経済的側面に関する状況			
(ア)	事業者における経済的側面の状況	-	-
(イ)	社会における経済的側面に関する状況	-	-
(2) 環境配慮経営の社会的側面に関する状況			
		26	C S R 行動原則
		27~36	商品・サービスの安全かつ安定的なお届け
		49	電子マニフェストの導入
		51~53	地域社会の発展に向けた積極的な貢献
		54	人権の尊重
		55	多様性のある人材の雇用推進と働きやすい職場づくり
		57	安全衛生に関する取組み
		62	グループ全体で取り組むコンプライアンス活動の推進
		64	情報セキュリティのための取組み
		67~69	コーポレートガバナンス
<b>5. その他の記載事項等</b>			
(1) 後発事象等			
		-	-
(2) 環境情報の第三者審査等			
		-	-